



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月12日

上場会社名 ダイナパック株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3947 URL https://www.dynapac-gr.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 喜久雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 篠岡 尚久 TEL (052) 971-2651
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績 (2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	12,916	3.1	97	—	458	940.3	259	—
2020年12月期第1四半期	12,527	△0.9	△85	—	44	—	△35	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 281百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △106百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	26.17	26.15
2020年12月期第1四半期	△3.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	65,865	39,000	59.1
2020年12月期	66,862	39,214	58.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 38,945百万円 2020年12月期 39,160百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期 (予想)	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	26,000	4.2	200	297.0	450	78.9	350	190.4	35.36
通期	54,000	3.3	900	24.1	1,200	12.7	900	△3.6	90.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	10,322,591株	2020年12月期	10,322,591株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	419,081株	2020年12月期	419,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	9,903,532株	2020年12月期 1 Q	9,887,970株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項につきましては添付資料の2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照願います。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や輸入、企業収益、設備投資などで一部持ち直しの動きもみられたものの、緊急事態宣言の再発出を受けた外出自粛の影響で個人消費が弱含みで推移するなど、新型コロナウイルス感染拡大による景気の下振れリスクを抱えた不透明な状況が続きました。海外経済を俯瞰しても、断続的に発生する感染拡大の波や慢性化しつつある世界的な半導体不足、深刻な状況が続く米中対立など、依然として予断を許さない状況で推移しました。

段ボールの国内生産動向は、1-3月累計数量(速報値)では前年比102.2%と、前年の急激な落ち込みからの回復がみられました。

このような環境下、当社グループの国内販売数量は、段ボールケースでは、主力の食料品分野においてはコロナ禍によるギフトや業務用の需要減がありました。電気・機械分野および雑貨分野の輸出製品や通販分野の需要増があり、段ボールシートにおいては前年を維持し、段ボールケースと段ボールシートを合わせた段ボール全体では前年比で101.2%と伸長しました。収益面においては、販売数量の増加に加えて、前年から継続して取り組んでいる顧客ポートフォリオの見直しや生産に係る費用を主体としたコスト低減により、利益計上となりました。

海外事業については、販売は前年のコロナ禍から回復し比較的堅調に推移しましたが、中国に端を発する東南アジア全域での主原材料価格の上昇傾向が影響し、収益を圧迫しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は129億16百万円(前年同期比103.1%)、営業利益97百万円(前年同期は営業損失85百万円)、経常利益4億58百万円(前年同期比1,040.3%)および親会社株主に帰属する四半期純利益2億59百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円)となりました。

セグメントの経営成績の状況は次のとおりであります。

① 包装材関連事業

当セグメントにおきましては、売上高は136億61百万円(前年同期比102.4%)、セグメント利益(営業利益)は1億21百万円(前年同期はセグメント損失39百万円)となりました。

② 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、売上高は98百万円(前年同期比101.4%)、セグメント利益(営業利益)は81百万円(前年同期比101.8%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億97百万円減少し658億65百万円となりました。これは、主に前連結会計年度末に比べ、売上債権が減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ7億83百万円減少し268億64百万円となりました。これは、主に仕入債務および短期借入金が増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億13百万円減少し390億円となりました。これは、主に配当金の支払などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の日本経済は、中期的には新型コロナウイルス感染症の収束を前提とした緩やかな回復が予想されるものの、足元では都市部を中心に3度目の緊急事態宣言が発出され、東京五輪開催やワクチン接種の動向など不透明な先行きであり、当面は不確実性が高い状況が続くことが見込まれます。

また、米国、欧州、アジア各地域においても、ワクチン接種と並行し経済活動のレベル引き上げが進められておりますが、一方で変異株の感染拡大により経済活動の制限が行われている地域もあり、景気の先行きは予断を許さない状況が続くものと考えられます。

このような環境において当社グループは、新型コロナウイルス感染拡大で落ち込んだ需要の回復期を次なる成長に向けた準備をする期間と捉えた2021年から2023年の三か年を対象とする中期経営計画のもと、構造改革による「収益力強化」、海外事業の「持続的成長」、新たな日常への「変化対応力強化」の三つの重点課題を推進し、収益体質への転換を確実なものとするとともに、さらにその先の成長に向けた取り組みを進めてまいります。

なお、2021年2月5日に公表しました連結業績予想は修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,228,264	2,484,142
受取手形及び売掛金	15,868,653	14,427,031
商品及び製品	857,105	1,121,761
仕掛品	282,996	274,907
原材料及び貯蔵品	1,624,267	1,797,152
その他	562,858	493,124
貸倒引当金	△37,982	△6,832
流動資産合計	21,386,162	20,591,288
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,896,625	18,057,809
減価償却累計額	△12,291,719	△12,467,140
建物及び構築物(純額)	5,604,905	5,590,669
機械装置及び運搬具	28,218,732	28,530,030
減価償却累計額	△22,796,199	△23,090,324
機械装置及び運搬具(純額)	5,422,533	5,439,706
土地	9,180,430	9,189,367
その他	3,799,406	4,069,974
減価償却累計額	△2,783,625	△2,869,044
その他(純額)	1,015,781	1,200,930
有形固定資産合計	21,223,651	21,420,673
無形固定資産		
のれん	517,509	488,547
その他	298,731	289,366
無形固定資産合計	816,240	777,913
投資その他の資産		
投資有価証券	22,449,633	22,025,361
繰延税金資産	79,770	98,059
その他	936,166	985,118
貸倒引当金	△28,744	△32,552
投資その他の資産合計	23,436,826	23,075,987
固定資産合計	45,476,717	45,274,574
資産合計	66,862,880	65,865,863

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,155,031	11,214,257
電子記録債務	2,818,902	2,682,832
短期借入金	828,068	567,200
1年内返済予定の長期借入金	370,460	335,260
未払法人税等	203,523	239,943
賞与引当金	257,633	532,600
その他	3,259,814	2,765,588
流動負債合計	18,893,434	18,337,681
固定負債		
長期借入金	738,423	659,847
繰延税金負債	5,138,484	4,973,751
退職給付に係る負債	2,457,292	2,462,040
その他	420,333	431,592
固定負債合計	8,754,533	8,527,231
負債合計	27,647,967	26,864,913
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,000,000	4,000,000
資本剰余金	16,986,679	16,986,679
利益剰余金	9,409,935	9,173,885
自己株式	△924,730	△924,819
株主資本合計	29,471,884	29,235,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,206,072	9,948,118
為替換算調整勘定	△325,006	△55,788
退職給付に係る調整累計額	△192,483	△182,316
その他の包括利益累計額合計	9,688,582	9,710,013
新株予約権	8,370	8,370
非支配株主持分	46,076	46,819
純資産合計	39,214,912	39,000,949
負債純資産合計	66,862,880	65,865,863

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	12,527,291	12,916,038
売上原価	10,525,226	10,721,279
売上総利益	2,002,064	2,194,759
販売費及び一般管理費	2,087,266	2,097,134
営業利益又は営業損失(△)	△85,201	97,624
営業外収益		
受取利息	2,981	5,607
受取配当金	165,291	169,901
為替差益	—	127,857
持分法による投資利益	863	—
雑収入	36,163	78,998
営業外収益合計	205,299	382,365
営業外費用		
支払利息	7,737	6,229
為替差損	58,361	—
持分法による投資損失	—	411
固定資産除却損	3,264	5,331
雑損失	6,631	9,210
営業外費用合計	75,995	21,183
経常利益	44,102	458,805
税金等調整前四半期純利益	44,102	458,805
法人税、住民税及び事業税	103,590	242,868
法人税等調整額	△24,318	△43,860
法人税等合計	79,272	199,007
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,170	259,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	549	668
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,719	259,129

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,170	259,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,838	△257,879
為替換算調整勘定	△96,990	269,218
退職給付に係る調整額	13,705	10,166
その他の包括利益合計	△71,447	21,506
四半期包括利益	△106,617	281,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△106,799	280,560
非支配株主に係る四半期包括利益	182	743

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,439,767	87,524	12,527,291	—	12,527,291
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	897,983	9,180	907,163	△907,163	—
計	13,337,750	96,704	13,434,454	△907,163	12,527,291
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△39,435	80,469	41,033	△126,235	△85,201

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△126,235千円には、主に事業セグメント間取引消去2,541千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△124,180千円および未実現利益消去△3,098千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	包装材関連事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	12,827,124	88,914	12,916,038	—	12,916,038
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	834,769	9,180	843,949	△843,949	—
計	13,661,894	98,094	13,759,988	△843,949	12,916,038
セグメント利益	121,646	81,881	203,527	△105,903	97,624

(注)1 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△105,903千円には、主に事業セグメント間取引消去4,670千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△109,241千円および未実現利益消去△210千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

- 2 包装材関連事業におけるセグメント間の内部売上高又は振替高は、包装材関連事業内における事業セグメント間の取引であります。
- 3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。